



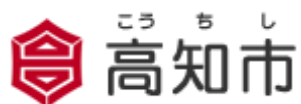
# こうちこどもファンド

平成25年度 審査会 報告書



平成25年6月23日(日) 13:30~17:00

高知市南部健康福祉センター 2階大ホール







# 【 目 次 】

開会（13：30～） ..... P2

- ☆開会のあいさつ 高知市副市長 吉岡 章
- ☆審査員等の紹介
- ☆審査の流れ

応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答（13：40～） ..... P5

- ☆太平洋学園コミュニティー協力隊
- ☆瀬戸東町元気キッズ
- ☆こじゃんと！土佐チル
- ☆高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」
- ☆高知市立愛宕中学校生徒会
- ☆高知市立旭中学校生徒会 ～防災 ASAHI の会～
- ☆大津子ども会連合会「クルック・ソングメイツ」
- ☆潮江中防災プロジェクトチーム

こども審査員による一次判断（15：00～） ..... P29

審査員による公開審議（15：10～） ..... P30

市長あいさつ（16：15～） ..... P42

審査結果発表（16：20～） ..... P43

- ☆審査結果発表
- ☆こども審査員からの感想発表
- ☆審査委員長からの講評



# 【 開 会 】

## ★開会のあいさつ

高知市副市長 吉岡 章

皆さんこんにちは。高知市副市長の吉岡と申します。

本来でしたら、高知市長から皆さんにご挨拶を申し上げるところですが、他の公務のために、公開審査会の途中から参加することとなっておりますので、開会にあたりまして私から一言ご挨拶を申し上げます。

将来を担う子どもたちが、高知市のまちづくりを考えていこうという「こどもファンド」ですが、本日も審査委員長をお願いしております早稲田大学の卯月先生からご紹介いただいた、ドイツのミュンヘン市の取り組みを参考にしております。

平成23年度に制度の仕組みを考える検討委員会を立ち上げ、一年間、委員の皆様からご助言を頂きながら、この制度を立ち上げました。制度開始初年度である24年度は、10グループがこの審査会で選考され、一年間取り組みを行いました。先だってその活動発表会が開催され、参加者全員の投票により選ばれた優秀なグループは、発表会のなかで表彰を受けたという話も聞いております。

「こどもファンド」の凄いところは、子どもたち自らがまちづくりを進めていくということと、この公開審査会です。大人の審査だけではなく、子どもたちも審査員として参加をし、子どもの目線で自分達の仲間のいろんな発表が、どのようにまちづくりに繋がっていくか審査をするということは、全国でも高知市だけではないかと思えます。

「こどもファンド」の目的は、将来を担う子どもたちの、高知市のまちをこんなにしていきたいという想いを実現していくことです。今日参加して下さっている皆さんが大人になる10年後にも、この「こどもファンド」は続けていきたいと考えております。皆さんが大人になった時にはぜひ、今度は大人のサポーターとして参加をし、支援をしていただきたいと思います。

今日は8つのグループの皆さんが発表して下さいます。皆さんが、いまから自分達のまちづくりについて考えることで、将来、地域のいろんな活動に自発的に参加してくれるようになること、そして皆さんの活動を見て、地域の大人たちが、「よし、自分達の地域も良くしていこう。自分達もまちづくりに参加しよう」という、ひとつの地域の活力や活性化に繋がることを目的として、この取り組みをしております。発表する時はちょっとときどきするかもしれませんが、自分達が今まで経験してきたこと、勉強してきたことを力いっぱい披露していただき、皆さんのまちづくりのいろんなアイデアが、高知のまちづくりに反映されることを心から期待しております。

今日は力いっぱい発表していただき、意義のある公開審査会にしていきたいと思います。どうぞ一日頑張ってください。



## ★審査員等の紹介

### こども審査員

森田 大雅 (もりた たいが) 高知商業高等学校3年  
安岡 円 (やすおか つぶら) 高知高等学校2年  
池上 勇人 (いけのうえ はやと) 高知追手前高等学校1年  
家古谷 優 (けごや まさる) 高知中央高等学校1年  
河野 凜 (こうの りん) 三里中学校2年  
西田 友紀 (にしだ ゆき) 朝倉中学校2年  
田部 未空 (たべ みそら) 行川中学校1年  
井上 青海 (いのうえ まりん) 第四小学校6年  
宇賀 みくも (うか みくも) 旭東小学校4年



### 大人審査委員

審査委員長 卯月盛夫 早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授  
審査副委員長 古谷純代 高知県商工会議所 女性会連合会会長  
審査委員 新藤こすえ 立正大学社会福祉学部講師  
審査委員 廣井綾乃 「とさっ子タウン」元実行委員長  
審査委員 松原和廣 高知市教育長  
審査委員 坂本導昭 高知市市民協働部長  
審査委員 山川瑞代 高知市総務部副部長

### サポート役

こども審査員サポーター 平井千加子 (高知市教育委員会学校教育課 指導主事)  
こどもファンドアドバイザー 畠中洋行

### 協力

NPO法人要約筆記高知・やまもも (要約筆記)  
高知県聴覚障害者協会 (手話通訳)



## ★審査の流れ

- 応募団体のそれぞれに、助成申請した活動内容について公開プレゼンテーションをしてもらう。  
(持ち時間は3分間以内)
- 各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答。(5分間以内)
- 公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員9名が、各応募事業について「いいね」「まよっている」「もうちょっと」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行う。
- 一次判断の結果をもとに、助成をするかしないか、こども審査員と大人審査員が公開で審議。  
「まよっている」「もうちょっと」にシールが貼られている団体に対しては、審査員から再度の質疑応答を実施。
- 公開での審議後、こども審査員9名が、助成するかしないかについての最終判断を行う。  
こども審査員の過半数、5名以上が助成すると判断した場合に助成が決定。
- 公開の場で、審査結果発表。



# 【 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答 】

## ★太平洋学園コミュニティー協力隊

～学校と町内の皆さんとの交流を図り、より安心して楽しく暮らせるまち  
“ハッピーコミュニティー”づくりを推進するボランティアプロジェクト～

### 【太平洋学園】

皆さんこんにちは。ただいまより、太平洋学園コミュニティー協力隊の今年度の活動計画を発表させていただきます。

この活動の目標は安心して楽しく暮らせるまち、ハッピーコミュニティーをつくることです。

この計画は3年計画で取り組み、今年はその2年目です。去年の活動を通して、地域の皆さんの声を聞くことが重要ではないかと気付きました。そこで今年は地域と共同でイベントの開催などを行い、その時々アンケートを実施し、地域のニーズを探ります。そして3年目には、アンケートの結果をもとにして、活動に取り組んでいきます。

この計画は、「交流・防災・美化・貢献」の4つの活動を柱に、地域の絆を深めていきます。

まず「交流」については、会報の配布などの基本的な活動に加え、昨年度より管理を任された栄田町西公園で、お花見やルミナリエなどのイベントを開催し、地域の皆さんとの交流をさらに深めていきます。

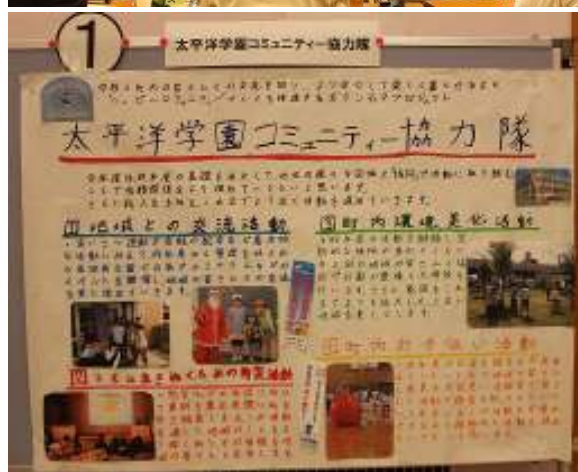
次に「防災」については防災マップ作成のための資料集めとして、実際にまち歩きを行い、調査します。この活動を通して、地域のことをより深く知り、その情報を地域の皆さんと共有していきます。

続いて、昨年度の活動を継続し、毎週の清掃・美化活動を行うとともに、年2回、地域の皆さんと共同で、公園の整備と大掃除を行います。

今年は範囲を拡大し、これまでより広い地域を美しくします。

「貢献」に関しては昨年の反省をふまえ、今年はアンケートなど地域の皆さんに意見を求めるとともに、会報などで自分たちの活動の主旨を知ってもらい、3年目にはこの活動を日常化できるよう、積極的に進めたいと思っています。

現在決まっている主な活動スケジュールは、7月に防災マップ作成のための資料収集を開始し、地域の声を聞くためのアンケート内容を検討します。9月のお月見の夕べや10月の江ノ口地区運動会など地域のイベントに参加して、アンケートを実施します。12月には学園祭でのアンケートを実施し、さらにその前夜祭でルミナリエを行います。そして翌年の2月には、7月から収集していた資料をもとに防災



マップ第一号を作成します。活動エリアは地図に示したとおりですが、今年度は4つの活動を通して、さらに範囲を広げたいと思います。これらの活動は、昨年度から引き続き参加しているメンバーに、一年生を加えて進めていきます。最後までご静聴ありがとうございました。

**【森田審査員】**

アンケートをとるということですが、そのアンケートの詳しい内容は決まっていますか？

**【太平洋学園】**

ほとんど決まっていません。それを7月に改めて、検討したいと思っています。

**【安岡審査員】**

公園でのイベントがいくつかあったと思うんですが、近所の人への迷惑への配慮とかは考えていますか？

**【太平洋学園】**

それも今後の話し合いで決めていきたいと思っています。

**【池上審査員】**

会報のハッピーコミュニティ通信を発行されていますが、その通信について、地域の方々からはどういった反応がありますか？



**【太平洋学園】**

正直、文字が多くて分かりづらいという意見が多かったんですけど、今年はその意見もふまえて、改善していきたいと思っています。

**【田部審査員】**

3年間計画と言っていましたが、4年目は継続していくんでしょうか？

**【太平洋学園】**

はい、していきたいと思っています。

**【西田審査員】**

継続されると言われましたが、そのときの費用等はどうするんですか？



**【太平洋学園】**

それは、PTAなどの団体から支援してもらおうか、もしくは新しく資金を作るしかないですね。もっと活動の規模を縮小するかもしれません。

**【安岡審査員】**

公園でのイベント後の片付けは、お月見とかは夜すると思うんですけど、その都度行っていくということですか？

**【太平洋学園】**

はい、もちろん。清掃活動の一環としてやります。

**【森田審査員】**

清掃活動するじゃないですか。それでゴミを集めて、そのゴミの処理はどうするんですか？学校で処理するんですか？





### 【太平洋学園】

学校では処理できないと思います。ペットボトルのキャップを分別してとか…。そのへんも今後つめていきたいと思います。

### 【卯月審査委員長】

昨年と比較して、メンバーが少し増えたというお話がありましたが、皆さんのお一人おひとりの意欲や、この活動に対する情熱というのは、昨年と比べてどうですか？アピールしてください。

### 【太平洋学園】

昨年は漠然と何をしたいかわからないようなところがあって、とにかく自分達のやりたいことを書き連ねて、それを全部やっというスタンスだったんですけど、今年は、ちゃんと地域の方の意見を聞いて、地域の方がやって欲しいと思うようなことをやっていきたいというようなことになりました。

### 【池上審査員】

この経験を通してどういったことを学びたいですか？

### 【太平洋学園】

もう既に学んだことも多いと思うんですけど、これからも、地域の人に貢献するにはどうすればいいかということだけじゃなくて、地域の人に貢献するということはどういうことなのか、というようなことを学びたいと思っています。



## ★瀬戸東町1・2丁目元気キッズ

～子どもお年寄りも仲良く元気なまちづくり～

### 【元気キッズ】

A 皆さんこんにちは。私たちは、瀬戸東町1・2丁目。

(全員) 元気キッズです。

A 私たちは、子どももお年寄りも、仲良く元気なまちづくりを目指します。

B きっかけ。

C 去年私たちは、メンバーのお父さんが作っている畑で、少しだけ農業体験をしました。

B 感想。

D 楽しかった！！

E 小さい子、小学生、中学生、大人までみんな仲良く協力して出来て、とても楽しかった。

B 勉強になった！！

E 苗の形と成長した野菜の姿の違いにびっくり。勉強になった。

B 美味しかった！！

F 自分達で植えた野菜を収穫してみんなで食べた、とても美味しかった。

B 嬉しかった！！

F 見に来ていた町内会長さんや、交通安全のおじさんにお裾分けをして、喜んでもらったことが嬉しかった。

C この体験をもとに、今回の活動を試みようと思いました。

B 今回の活動の目的。

G 自分達で野菜を作り、その活動をもとにして、楽しい仲間づくりと地域の人との交流を広げ、地域が仲良く元気になることを目的にします。

B 方法。



G 野菜作りはみんなで相談しながら協力しあって楽しく行います。お父さん、お母さんや地域の人にも協力をお願いします。

C 交流会は、夏に公園掃除にあわせていつも掃除をしてきている老人クラブの方に、収穫した野菜を渡しに行くことと、冬には収穫した野菜で、一緒に料理をして食事会で交流したいと思います。

B 私たちの目指すまち。

A 同じ地域に住む人が、顔を知り仲良くなることで、一緒に出来る活動や協力できることが増えると思います。困った時に助けあうことのできる関係づくりが出来ます。いろんな活動を一緒にすることで、まち全体が元気になります。みんないきいき、仲良く元気なまちを目指したいと思います。

(全員) がんばります。

A これでは瀬戸東町1・2丁目元気キッズの発表を終わります。



**【家古谷審査員】**

みんなに協力してもらおうとありますが、それは他の友達や、お年寄りの方も農業体験が出来るということですか？

**【元気キッズ】**

1・2丁目の地域の皆さんと、子どもからお年寄りまで、みんなと一緒にやりたいと思います。

**【田部審査員】**

食事会と言っていましたが、食事会はお年寄りの方たちとかと一緒に作るのか、自分達だけで作るのか、どちらでしょうか。

**【元気キッズ】**

まだ決まってないので、みんなで話し合っ、自分達で作るのか、お年寄りたちと一緒に作るのかを決めたいと思います。

**【安岡審査員】**

作物を育てるということで、すごく時間がかかるかと思ったんですけど、これから2回目、3回目も同じような活動というのは考えていますか。

**【元気キッズ】**

今年は自分達で作って、老人クラブのお年寄りたちとも交流をするというふうに考えていて、来年も作物は、自分達子どもたちみんなで作って、交流は、一人暮らしをされていてなかなか出来ないお年寄りとも交流をしていきたいと思っています。

**【宇賀審査員】**

食事会では、どんな料理を作るのかは決まっていますか。

**【元気キッズ】**

料理の内容は決まっていません。

**【西田審査員】**

食事会をするとのことですが、野菜があまり獲れなかったりして足りなかった場合は、買って出したりするんですか？

**【元気キッズ】**

それはもう自分達で作って、収穫して出来る範囲で作りたいと思っています。



**【井上審査員】**

野菜に水やりをするって書いてあるんですけども、定期的に、地域の人たちと一緒に水やりをしていくんですか？

**【元気キッズ】**

休みの日とかに、みんな家も近いのでみんなで集まって、水やりをしていきたいと思っています。

**【森田審査員】**

すごく素朴な質問なんですけど、夏秋冬と作って、春の野菜は作ったりしないんですか？

**【元気キッズ】**

春は種を植えるので、まだ野菜が出来ないです。

**【森田審査員】**

とてもいい活動だと思うので、今後はお年寄りとか、僕もおばあちゃん子なので、子どもと交流するというのはとてもいい活動だと思うので、ぜひ一緒に野菜を作って、一緒に料理も作ってもらえたらいいなと思います。頑張ってください。

**【卯月審査委員長】**

とってもいい発表だったと思うんですけど、何日間くらい練習しましたか？

**【元気キッズ】**

なかなかみんなが集まって全員でできないので、2週…1週間くらいです。たぶん。

**【宇賀審査員】**

こどもファンドでの助成が決まって、期間が終わっても続けていくつもりですか？

**【元気キッズ】**

もちろん続けたいと思っています。

**【池上審査員】**

メンバーはこちらにいらっしゃる方で全員ですか？

**【元気キッズ】**

今やっているのはここにいるメンバーなんですけど、地域にはまだ子どもがいるので、沢山いた方がいいので誘いたいと思っています。

**【坂本審査委員】**

この事業の提案が通れば、審査員も食事会に呼んでいただけますでしょうか？

**【元気キッズ】**

それはもちろん。来てください。



## ★こじゃんと！土佐チル

～『お届けします！笑顔と感動を。』

出前舞台で地域に楽しい輪を広げるプロジェクト～

### 【土佐チル】

こんにちは。僕たちは、こじゃんと！土佐チルです。  
いま皆さんは、こじゃんと！土佐チルって何だろう？  
ってそういう風に思っていると思うんですけど、今から  
こじゃんと！土佐チルとは何か、それと去年とは何が違  
っているかを、今から劇で皆さんにお見せしたいと思  
います。



- A ねーねー、今年の土佐チルどうする？  
B 去年は屋外にステージを設置して、マジックとか、劇とかダンスとか、色々やって楽しかったね。  
C 去年のステージなんかは、テレビの取材があって、それを見た保育園から出演依頼がきたでね。  
B そうそう、そのあとも色々あって、結局マジックも劇もダンスもいろんなところで、いろんな人  
に見てもらえたよね。  
C うん。それでよ、今年は自分らあていろんな地域に行って、出向くってというのはどう？



(全員) えいね～!!

- A よっしゃ、じゃあ内容はどうする？  
B 私、楽器演奏がやりたい！  
C 誰かが歌もやりたいって言いよったで。  
D 僕またマジックしたい！  
B やりたい!!  
C 劇も忘れんとってよ。  
E ダンスもしたい!!  
A じゃあ今年は、去年に引き続いてマジックと劇とダンス、それに今年は歌と楽器演奏もつけちゃ  
うぜえ～。ワイルドだろ～。

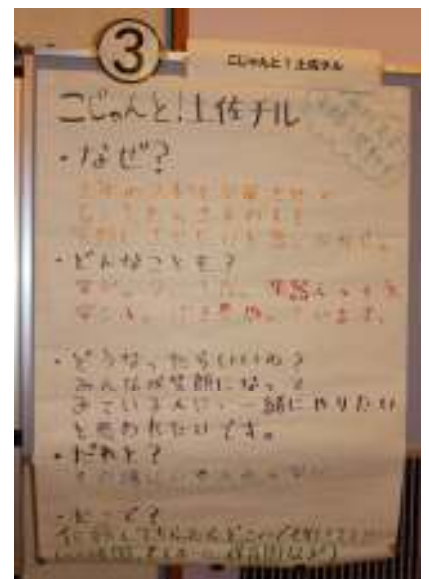
(全員) いいねー。やったー！

- F すごいって言われたらいいな。  
B 私は一緒にやりたいなって言われたい。  
D また来てください、って言われたら嬉しいでね。  
A みんなに喜んでもらって、感動が広げられたらえいね。  
C そうだね。去年はあつまれ！土佐チルって名前でも活動したけど、  
今年は新しく名前を変えてみん？

B ん～、じゃあ土佐弁使って、こじゃんと！土佐チルにせん？

(全員) えいね～!!

- A 今年のテーマは、お届けします！笑顔と感動を。出前舞台で地域  
に楽しい輪を広げるプロジェクト。



これでこの劇は終わります。今年の土佐チルは去年と違って、出前舞台で積極的にみなさんを笑顔  
にしていきたいと思います。これで終わります。

**【西田審査員】**

見ている人に自分もやりたいな～、と思わせて一緒に出来るような内容とありますが、これは一体どういった内容ですか？

**【土佐チル】**

えっと、見ている人に・・・？

**【西田審査員】**

見ている人も、一緒にやりたいという内容。

**【土佐チル】**

ダンスでいうたら、前でダンスを僕達がやっていると、見てる側もやりたいて、見てる人も素人の方でも出来るようなシンプルなダンスとか、音楽とかも見ている人がノリノリになれるような感じの音楽とかで、お客さんもやっている人も、一体化出来るように、そういう風に考えて構成していきます。

**【家古谷審査員】**

依頼がないと何処も行かないんですか？

**【土佐チル】**

いや、違います。それは去年のスタイルです。去年は来てくださいと言われました。けど今年は、例えば自分達の学校とか近くの老人ホームとかに、「私たちはこういう団体です。」と言って、自分達から出向きます。

**【河野審査員】**

マジックもダンスも、自分で練習するんですか？

**【土佐チル】**

マジックはちゃんとマジシャンの講習を受けます。ダンスは自分達でやります。劇とかも自分達でやります。



**【宇賀審査員】**

申請書に、銀行員の役割を設けていますと書いてありますが、銀行員はどんな役割なんですか？

**【土佐チル】**

そうですね。去年あったことなんですけど、班ごとに分かれてて、予算を振り分けていくと、班によって使う予算が違う。それでちょっと不満の声が出て、なんでマジック班だけあんなお金使ってるの？みたいな。で、それを管理してたのが大人なんで、子どもは予算を好きなことに使っていくことが出来ない状態だったんで、今年は全てじゃないんですけど、子どももお金の管理に関与するようにしたいと思って、銀行員というのを作りました。

**【池上審査員】**

楽器演奏とありますが、楽器って具体的にどういった楽器ですか？

**【土佐チル】**

それはまだ考えてないんですけど、一応土佐チルのメンバーの中に、部活とかで吹奏楽とかをやっている人がいるんで、そういう人の楽器とかで、まだあんまりちょっと考えてないんですけど…。

**【田部審査員】**

「あつまれ！土佐チル」から、「こじゃんと！土佐チル」にしたきっかけはどんな感じですか？



**【土佐チル】**

やっぱり私たちが去年とは違うことを、生まれ変わって去年とはまた違うメリハリを見せたかったので、チーム名もちょっと変えてみました。特に「こじゃんと」という土佐の要素を入れてみました。

**【西田審査員】**

今、楽器演奏を出来る方は、どれくらいいらっしゃいますか？

**【土佐チル】**

演奏が出来る人は、この方と…あ、楽器演奏のリーダーはこの方で、いま募集のチラシを出して、出来る人を募っています。

**【西田審査員】**

公演をなさるときに、演奏できる方が休まれたりしたら、その時に埋めあわせとかは考えていらっしゃいますか？

**【土佐チル】**

集まれる日を調整してやりたいと思っています。

**【宇賀審査員】**

そのチラシを出して、あんまり人が集まらなかったらどうするんですか？

**【土佐チル】**

今の時点でもチラシとは集まってきてくれるんですけど、それはただやりませんかって出してるチラシで、これから先はまた出して、もっと何ですかね、まだ始まったばかりなんで、具体的なことを書いて、もっと積極的にチラシの部数とかも増やして、集めていきたいと思っています。

**【井上審査員】**

演奏するチームの人数を集めても、チームワークがないと成り立たないんですよ。だから、チームが仲良くなるための、何かするような企画とかはないんですか？

**【土佐チル】**

楽器演奏するメンバーというのは、今ここにいる中心メンバーと募った人なんですけど。まあ、仲良くするっていうのは、ほんとに努力しかないですね。すでに僕達は仲いいです。で、次に来る人も積極的に仲良くしていきます。それのみです。

**【宇賀審査員】**

マジックで、お客さんたちも出来るような、お客さんもマジックに参加出来るような感じではありますか？



**【土佐チル】**

マジックは、さっきも言ったように講師を呼んで、業界の本格的なやつなんで、裏を見せることが出来ないんで、そういうふうにお客さんも一緒にやるっていうのは、ダンスとかになってくると思うんですけど、マジックも可能なやつでしたら、一緒に出来るようなやつは考えていきたいと思っています。

# ★高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」

笑顔あふれるまちづくり～「Let'sクリーン!!・花華いっぱい!!」大作戦～

## 【横中ボランティアの会】

こんにちは、横中ボランティアの会です。団体メンバーは359名以上、横浜中学校生徒会として全校生徒に呼びかけ、保護者や先生、地域の方と協力しながら活動します。

私たちの活動テーマは、『笑顔あふれるまちづくり～「Let'sクリーン!!・花華いっぱい!!」大作戦～』です。

そのために私たちは、3つの活動目標を設定しました。

1つ目は、自分達のまちをきれいにする。まちが綺麗だとゴミを落とさないように気を付けたり、地域を綺麗にしようという意識が高まります。

2つ目は、中学生の力で地域を活気づける。私たちには可能性とパワーがあると信じています。小学校からのボランティアスピリットで、まちづくりの幅を広げます。

3つ目は、大人になってもまちづくりに参加する。生徒会を中心とした活動により、私たちが大人になっても、自分達のまちをより良くしようという意識が継続できます。



横中ボランティアは年間を通じた、4つの活動からなっています。それでは僕たちの活動をご覧ください。

- クリーンアップし、私たちのまちを綺麗にします。
- 花いっぱいにし、私たちのまちを心和むものにします。種から育てたり、ビット苗という小さな苗を購入し、大きく育てて、校区13施設に配布したプランターや街路樹下を花で綺麗にします。
- 地域の自然を、私たちのまちの海や山を守ります。
- 地域の行事に参加し、私たちのまちを活気づけます。

このように、横中ボランティアの参加者は昨年度786名になりました。昨年度、こうちこどもファンドの助成をいただけたおかげで、私たちの活動は、地域にとってなくてはならない存在になっていることを実感しました。しかし、このファンドの助成は3回しか受けることができません。

そこで私たちは、将来的にこの活動を自分達の資金で行っていくための方法を考えました。スクリーン下の表をご覧ください。

今年度は種ではなくリスクの少ないビット苗だけにし、消耗品も不足分だけを購入することを考えています。そして育てた花の一部を、地域の祭りや小学校バザーで販売して、資金を得ることで助成額をおさえ、これからも自分達の力で活動を継続できるようにします。

これからも、僕たち横中ボランティアの会はみんなの心を繋ぎ、自立出来る笑顔あふれるまちづくりを続けていきます。審査員の皆さま、僕たちの活動に賛同していただけるよう、よろしく願いいたします。以上で横中ボランティアの会の発表を終わります。







### 【池上審査員】

去年の活動の反省点を教えてください。

### 【横中ボランティアの会】

去年は助成金をいただいて、ピオラの種とビット苗を買わせていただいたんですが、去年から初めてボランティアを募ったため、慣れてない人がおり、駄目になってしまった苗が多くありました。今年度はその反省もふまえて、やっていきたいと思っています。

### 【安岡審査員】

去年より規模というかメンバーの人数を多くして、今回は全校生徒を対象にとのことなんですが、そうすると自主的な気持ちで行うボランティアとはまた違ってくるんじゃないかなと思っています。学校の行事とはまた別、ということですか？

### 【横中ボランティアの会】

そうですね、学校の行事としてやるのではなく、ほとんどグリラ的な活動で、いきなり昼休み中に、今日放課後、こうこうこういうことをやるんで、ボランティアで参加してくれる人はよろしくをお願いしますって言ってやるものなんで、学校行事としてやっているわけではないです。

### 【安岡審査員】

それで人数は集まりますか？

### 【横中ボランティアの会】

結構集まりますし、どうしても人手がいるものだと、事前に委員会に報告して、委員会単位で参加してもらったりとか、まあ1週間位前から告知をして、部活動単位で参加してもらったりということもありますが、いきなり今日の放課後になっていうのもあります。それでも人数は結構集まってきます。

### 【井上審査員】

協力してくれた地域の皆さんには、アンケートとかとりましたか。

### 【横中ボランティアの会】

アンケートというものは正式には行っていませんが、最近というか、横浜中学校は地域が活性化していくために必要な存在になってきたね、という声をいただいたり、お手紙をいただいたりして、好評の声はいただいております。



### 【田部審査員】

1年間で全校生徒は参加しますか？

### 【横中ボランティアの会】

全校生徒のみんながみんなというわけではないかもしれませんが、先ほどプレゼンテーションでお見せしましたように、年々、毎年毎年、ボランティアに参加してくれる人は増えてきています。

なので、今年度来年度、またその先もどんどん増えていって欲しいと思っています。



### 【宇賀審査員】

参加してくれた人に、お礼の品を渡したりしますか？

### 【横中ボランティアの会】

それは、学校側が用意することたまにあるんですが、町内会の人たちからジュースなどが送られてきて、それをボランティア活動のときに参加者に配ったり、ということは何回やっています。

### 【池上審査員】

地域が活性化するには、具体的にどういうことですか？

### 【横中ボランティアの会】

僕たちはクリーンアップ、地域をきれいにする。その状態を維持する。花などを植えて美しくしていく。そういうサイクルを「活性化させる」、というふうに考えて活動しています。

### 【宇賀審査員】

手紙がきたりするって言ってましたけど、その手紙に返事を書いたりしますか？

### 【横中ボランティアの会】

お返事を書くことは現段階では出来てない状態ですが、これから考えていきたいと思っています。

### 【西田審査員】

出費の内容の中に天然ゴム手袋とあるんですが、それは軍手とかにすればもうちょっと何回か使えたりしないでしょうか？



### 【横中ボランティアの会】

すみません。そのあたりはどう使うかっていうのはよく分からないし、たとえ軍手にしたとしても毎回どんどん汚れて洗濯とかしていくうちに破れたりとかそういうことがあるんで、どういう用途でゴム手袋を使うかっていうのは、すみませんが校長先生に回答をお願いいたします。

### 【横中ボランティアの会 大人サポーター】

はい。7月の七河川一斉清掃の時に、非常に沢山のゴミが出ます。その中には割れたビンとか色んな危険なものがありますので、ボランティアに参加してくださった方々には天然ゴム手袋、出来るだけ怪我がないように、そういったものを使わせてもらっております。地域も、中学生が参加するということで、本当に喜んでもらってるし、地域が活性化していくということに繋がっていると思います。

## ★高知市立愛宕中学校生徒会

### ～愛宕商店街活性化プロジェクト～

#### 【愛宕中学校生徒会】

それでは愛宕中学校の発表をはじめます。姿勢、礼、よろしくをお願いします。

愛宕商店街は、私たちの校区にあり、通学路にもなっている商店街です。夏にはよさこいの演舞場ともなり賑やかですが、普段は静かです。シャッターが閉まっているお店も見られます。

私たちの願いは、身近にあるこの商店街に、もっと大勢のお客さんが来て、活気があり、魅力ある明るい商店街になってくれたら、ということです。

3年前から愛宕商店街活性化プロジェクトに取り組んでおり、昨年度は7月にイベントを開催し、商店街のお店とコラボ商品を作って売ったり、踊りを作って披露しました。当日は沢山の人が集まり、日頃静かな商店街が大変賑わいました。今年もイベントを計画していますが、年に一度のイベントで終わらせるのではなく、商店街の活性化に繋がることを、年間を通してやっていきたいと思っています。



商店街のために、私たちに何ができるのか色々考えました。月に一度清掃活動に出かけたり、何か飾り付けをして魅力ある商店街にしていきたいです。また、生徒や保護者、地域の人に商店街の魅力を知ってもらえるような、楽しいクイズを取り入れたウォークラリーを実施したいと思っています。美術部に協力してもらい中学生が製作した商店街の案内看板なども設置したいです。

助成金の使い途は、まず掃除道具の購入費、イベント開始やお知らせのチラシ、イベント後の報告新聞の印刷代を予定しています。アーケードの飾り付けとしては、商店街の人と話し合っ、計画を少し変更し、風鈴などの飾り付けをする費用にしていきます。風鈴の短冊には、私たち中学生のメッセージを入れていこうと思っています。

私たちの中学校には愛宕応援団といって、保護者だけでなく地域の方たちが私たちの活動をいつもサポートしてくださっています。商店街の人たちも私たちの考える活性化プロジェクトに大変協力的なので、このプロジェクトをぜひ成功させていきたいと思っています。

こどもファンドに取り組むことによって、私たち自身の商店街への関心が高まり、利用する生徒が増えると思います。また活動を通して、地域の人たちとも繋がりがさらに深まり、結果的に商店街の活性化や、明るく楽しいまちづくりに繋がると思います。

これで発表を終わります。

姿勢、礼、どうぞよろしくをお願いします。



**【家古谷審査員】**

清掃活動の道具についてですけども、学校にありますか？ほうきとか。

**【愛宕中学校生徒会】**

学校にあるものも使うんですけども、生徒に募ってボランティアをするので、人数がまだ分からないので、ちょっと多めに…。

**【家古谷審査員】**

工夫とかはないですか？人数が分からないので、万が一みたいな感じですか？

**【愛宕中学校生徒会】**

工夫とはどういったことですか？

**【家古谷審査員】**

軍手とかじゃなく、手で拾うとか。

**【愛宕中学校生徒会】**

なるほど。それもありますけども、生徒たちの衛生面とかを考えた場合には、やはり清掃道具も必要と思いましたし、万一、地域の人たちもいらっしゃるかもしれません。中学校の掃除とかでも使う機会もあるので、また壊れたときに予備として買っておくのもいいのではないかと思います。



**【田部審査員】**

今のメンバーが全員中3なんですけど、来年以降のメンバーはどうなるんでしょうか？

**【愛宕中学校生徒会】**

一応、生徒会としての活動なので、来年も10月に引き継ぎをするので、またそれを学校とか生徒会でやっていこうと思っています。

**【河野審査員】**

シャッターに絵を描くのを変更したのは何故ですか？



**【愛宕中学校生徒会】**

最初はシャッターに絵を描くことを計画していたんですが、商店街の人と話し合った結果、私たち素人のやるペイントではすぐはがれてしまって汚くなるので、自分たちで出来ることを考えた時に、風鈴を商店街に飾り付けをして、来たお客さんに楽しんでもらえるように変更しました。

**【池上審査員】**

商店街が活性化するというのは、だいぶ抽象的な言葉だと思うんですけど、商店街を活性化するというのは具体的にどういったことですか？

**【愛宕中学校生徒会】**

活性化というのは、まず昨年よりもっとお客さんに来てもらうということと、お客さんがもっと大勢来てくださることで、地域の皆さまいろいろな方と交流が出来るのではないかと。

それをふまえた上で、活性化というひとつの言葉にまとまっているんじゃないかと思います。

**【宇賀審査員】**

こどもファンドの期間が終わってからも、活動は続けるおつもりですか？



**【愛宕中学校生徒会】**

もちろんです。

**【西田審査員】**

風鈴というのはすごくいいと思うんですけど、年中続けていくんですか？

**【愛宕中学校生徒会】**

年中というのは考えていないんですけど、先ほども言ったとおり、愛宕商店街はよさこいの演舞場にもなっているので、特に夏にお客さんとかがすごく多く来るので、そういう時期の風物というのを考えたときに風鈴を決めました。

**【森田審査員】**

夏に来るから夏に絞って、新しい商品を、風鈴を飾るという案はとてもいい案だと思ったんですけど、だからといって夏だけに絞っていたら駄目だと思ったんです、僕は。で、他の時期に、例えば冬に人が来るためにはどうしたらいいとか、そういう案は出したりはしてませんか？

**【愛宕中学校生徒会】**

今の状況では清掃活動をいれようと思ってるんですけど、まだ季節ごとのイベントとかは決まっていないので、今後決めていこうと思っています。

**【井上審査員】**

風鈴には、地域の人たちに手伝ってもらって、絵とかは描いてもらったりしますか？

**【愛宕中学校生徒会】**

まだ決めてないんですけど、言葉以外にも風鈴に絵を描くっていうのは検討中です。



## ★高知市立旭中学校生徒会「防災ASAHIの会」

～防災、地域をまきこんで、みんなのものにしていこう～

### 【防災ASAHIの会】

気をつけ、礼。皆さんこんにちは。僕たちは、旭中学校生徒会「防災ASAHIの会」のメンバーです。今日は仲間を代表して、僕たちの思いを伝えにきました。よろしくお願いします。

私たち旭中は、海拔44.9メートルの高台にあり、創立30年の比較的新しい学校です。

ご覧のように、急な坂道を登ったところに校舎があり、災害があった時の地域の避難場所となっております。

ですが、南海大地震が必ずくると言われているにも関わらず、高台に避難できるという安心感からか、私たちには災害に対する危機感が少し足りないような気がしていました。昨年度までの私たちの学校の防災に関する取り組みは、全校生徒で避難訓練をしたり、11月にやる「学ぼう災」という防災フェアで、保護者や地域の皆さんと体験学習をしたりと、どちらかという先生や大人の後について参加するだけのものでした。でも、学校は災害が起きた時に命を繋ぐ場所だということを学び、私たちの中で、今のままでいいんだろうかという疑問の声が上がりました。

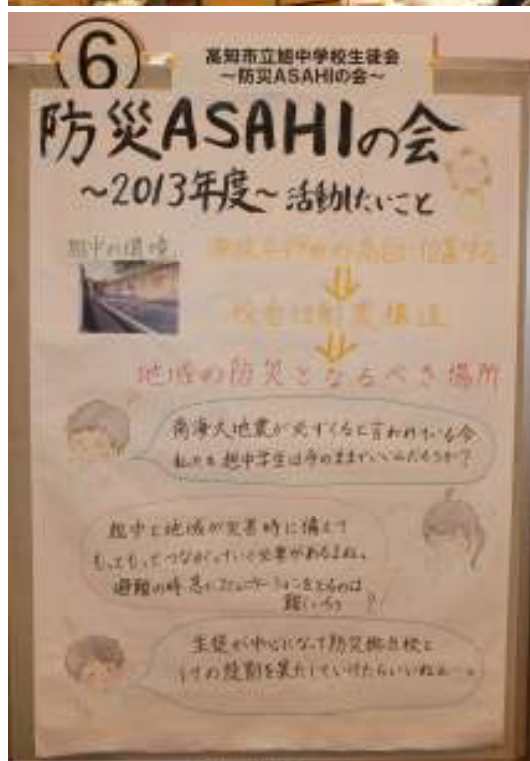
そこで、今の私たちが出来ることを考えてみました。

まずは正しい知識を身につけるため、専門家の先生に来ていただき、全校生徒や地域の皆さんに防災についてのお話をしてもらいたいです。次に、災害があった時の地域の状況や避難経路を自分達で確かめ、防災マップを作ろうと考えています。出来たものは、地域の皆さんに配る予定です。防災マップを作るのは初めてなので、高知大学の「防災すけっと隊」の皆さんに、協力をお願いする予定です。

最後に、私たちの校区には避難の際の誘導看板というものがありません。誘導看板は、災害があった時に避難の道標になるだけでなく、日頃からの防災意識を高めることにも効果があるといえます。ぜひ、自分達で作って地域に設置したいと看板屋さんにご相談し、アドバイスやサポートを全面的に引き受けてもらうことになりました。これが大まかな計画です。防災に関する取り組みがもっと進んでいる学校は沢山ありますが、私たちはまだまだこれからという状況です。どうか私たちの計画に賛同してください。よろしくお願いします。

### 【池上審査員】

岡村先生の講演ですけど、地域の方が具体的に何人くらい参加していただけるようになってるかどうかというのはわかりますか？



**【防災 ASAHI の会】**

まだ具体的に人数は決まっていらないんですが、これから色々なイベントを通じて、地域の方にも呼びかけていきたいと思います。

**【池上審査員】**

去年の学ぼう災に、地域の方って何人くらい参加されました？

**【防災 ASAHI の会】**

保護者の方が何人か参加されていました。

**【池上審査員】**

じゃあ地域の方って、学校に関係のない方は参加されてないんですか？

**【防災 ASAHI の会】**

その時は、まだ呼びかけも足りなかったんで、ほとんどいなかったです。

**【安岡審査員】**

学ぼう災に岡村先生を呼ぶときの呼び掛けについてなんですけど、何かチラシを作るとかっていうのは考えていますか？



**【防災 ASAHI の会】**

それもまだ決まっています。

**【家古谷審査員】**

講演会がありますけど、これは全校生徒が聞くようになってますよね。これは学校の行事じゃないんでしょうか？

**【防災 ASAHI の会】**

学校の行事です。

**【宇賀審査員】**

防災看板と防災マップは、どのようにして作るんですか？

**【防災 ASAHI の会】**

防災看板のほうは、看板屋さんが全面的にサポートしてくださると言っておいて下さっているんで、その方と全校生徒でボランティアを募ってやっていきたいと思っています。防災マップのほうも、防災すけっと隊の方々をお呼びして、全校でボランティアを募って、自分たちの足で歩いて防災マップを作っていくと考えています。

**【森田審査員】**

僕も気になっていたんですけど、学校行事で大学の教授に5万円も払って来てもらうっていうのは、防災のことなんでボランティアをお願いして、最悪自分たちが聞きに行って、自分たちで授業するっていうのも、また自分たちのためになると思うんですけど。僕は交通費まで出すことはないと思っていますんですけどどうでしょうか？

**【防災 ASAHI の会】**

それでも、岡村先生や高知大学生の方にはわざわざ来てもらいますし、僕らだけでは抜かるところもあるので、それを高知大学生や岡村先生に教えていただくためにも、お金を使わせていただきます。

**【井上審査員】**

横内小学校の防災すけっと隊とは一体なんですか？

**【防災 ASAHI の会】**

高知大の防災すけっと隊ですか？

**【井上審査員】**

そうです。どんな役割を？

**【防災 ASAHI の会】**

それは今までどのような活動を、ということですか？

**【井上審査員】**

そうです。

**【防災 ASAHI の会】**

それはちょっと…。

防災すけっと隊の皆さんは、防災のことでいろんな小学校や中学校のほうにも行かれてたりするみたいなので、今回お手伝いを依頼しました。

**【家古谷審査員】**

講演会を、岡村先生に5万円も出して来てもらうんですね。これは学校行事としてやるのでしたら、学校から予算が出ないんでしょうか？わざわざこどもファンドを通じて、するものなんですか？看板とマップだけでもいいんじゃないでしょうか？

**【防災 ASAHI の会】**

今回この企画を用意したのが旭中学校の生徒会なので、旭中学校の先生方に協力してもらおうというよりは生徒の力だけで何とかしようということで、岡村先生に出す予算の方はこうちこどもファンドの方から出させていただきたいと思っています。

**【家古谷審査員】**

けど、学校行事なんですか？

**【防災 ASAHI の会】**

去年同じようなというか防災フェアをした時は、参観日としてやりました。行事といえば行事なんですけど、今回は、参観日の日にわざわざさせていただきます。なので…行事ではないかな、と思います。

**【家古谷審査員】**

では、先ほどの発言は撤回するということですね。

**【防災 ASAHI の会】**

はい、すみません。お願いします。

**【西田審査員】**

支出の中に、お茶代というのはあるんですけども。これは各自持参というわけではいかないですか？

**【防災 ASAHI の会】**

生徒のほうはお茶とか持参してもらおうんですけど、地域の皆さんが手伝いに来てくださった時のためのお茶代を、出させてもらおうかなと思っています。

**【安岡審査員】**

防災マップを作った後に配るっていうふうに聞いたんですけど、その配布の仕方っていうのは、地域の方にちゃんと配れるように段取りはしていますか？

**【防災 ASAHI の会】**

段取りまではしてないです。





**【宇賀審査員】**

防災マップを作って、それを今年の学ぼう災に出すとしたら、それをクイズ式にしたらどうですか？

**【防災 ASAHI の会】**

分かりました。ありがとうございます。検討してみます。

**【坂本審査委員】**

色々質問がとんで緊張しておられるかもしれませんが、肩の力を抜いて。岡村先生も津波避難はこんなところか、浸水地域はこことかの説明で中々お忙しいですが、こちらは高台があるということで、津波がきた時にこの高台で助けてあげたり泊まったりして、地域の人が助けあったりというようなことがあると思うんです。そういった意味では、子どもたちが岡村先生を呼んで、地域の人に聞いてもらうというのは非常に意義があるんじゃないかな、と個人的には思いました。



## ★大津子ども会連合会「クルック・ソングメイツ」

～ミュージカルをつくって、見てもらい、みんながつながる町にしよう！！～

### 【クルック・ソングメイツ】

皆さん、こんにちは。私たちは、クルック・ソングメイツです。去年は、このこどもファンドの応援をいただき、なんと『ベストこどもファンド賞・銀賞』をいただきました。ありがとうございました。

私たちは、今度はミュージカルに挑戦します。練習はもう始まっています。5月からのミュージカルスクールで、声出しや体作り、歌や踊り、またお芝居の勉強を始めています。講演は来年2月です。頑張ります。タイトルも決まりました。“クルックこどもミュージカル・桜咲く頃”。この高知では、日本で一番早く桜の花が咲きます。でもそんな頃、東日本ではまだ深い雪が積もっています。そんなまだまだ春の来ない東日本のことを思いながら、3月11日を忘れないで、私たちが住んでいるまちの人たちが、もっともっと繋がりあっていく大切さを、私たちなりに伝えたいと思っています。頑張ります。皆さん、どうか私たちにミュージカルをやらせてください。お願いします。ではここで、少しでも練習中の歌をご披露します。“歌えクルック”、聞いてください。



～歌と踊りの披露～

### 【家古谷審査員】

ミュージカルの踊りを始められるのが9月ですが、ちょっと遅いのではないかという気がします、どうですか。

### 【クルック・ソングメイツ】

ジュニアリーダーから答えさせていただきます。ちょっと遅いけど、早くみんなが覚えられるように頑張っていきたいと思います。

### 【家古谷審査員】

重ねて質問させていただきますが、1回限りでしょうか？ 他のところに出向いてするとかはしないんでしょうか？

### 【クルック・ソングメイツ】

2月には1回無料でやらさせていただきたいと思ってるんですけど、また3月に1回やらさせていただきます。

### 【家古谷審査員】

他のところから要請があった場合、行くことができるんでしょうか？

### 【クルック・ソングメイツ】

よく分からないけれど、行ければ行きたいです。

### 【森田審査員】

強化合宿の詳しい内容、どこでやるとか、どんなことをするのかとか気になったんですけど、詳しく教えてください。

### 【クルック・ソングメイツ】

いつもの通りに、滑舌練習やミュージカルのダンスとか動きとか、そういうのをやっていきたいと



思っています。

**【森田審査員】**

まだどこでやるとか、場所は決まってるんですか？

**【クルック・ソングメイツ】**

決まってると思います。

**【家古谷審査員】**

前から疑問に思ってたんですけど、クルック・ソングメイツの名前の由来って何ですか？

**【クルック・ソングメイツ】**

鳥で、鳩の鳴き声です。

**【安岡審査員】**

今年はミュージカルということもあって、準備期間とか練習期間が長くなっていると思うんですが、せっかく練習したのに、公演の期間が短いともったいないと思ったんですが、それについてはどうですか？

**【クルック・ソングメイツ】**

去年は、色々なお年寄りや保育園の子たちと仲良くなろうというので、いろんなところでやらさせていただいたけど、今回はいっぱい練習したので私たちも見てもらいたいですが、多分、予算とかの関係で、少しのところでは出来ないと思います。



**【河野審査員】**

ミュージカル公演する時に、まちの人たちへの呼びかけってどうやってするんですか？

**【クルック・ソングメイツ】**

チラシとか配ったりして呼びかけしていきたいです。

**【宇賀審査員】**

そのチラシはどんな感じで渡したりするんですか？

**【クルック・ソングメイツ】**

学校の掲示板に貼ったり、配ったりとかしたいです。

**【井上審査員】**

もし予算が足りない場合は、寄付金とか集めたりしますか？

**【クルック・ソングメイツ】**

予算が足りない場合は、たぶん集めたりすると思います。

**【田部審査員】**

クルックソングメイツはピアノを贈るので、そういう活動で団体が生まれたと思うんですが、これからピアノを贈っていく活動とかは継続していきますか？

**【クルック・ソングメイツ】**

ピアノを贈って欲しいとかいっぱいきたら、継続していきたいと思っています。

**【宇賀審査員】**

先ほど、予算が足りない場合は寄付・募金などで集めると言いましたが、そのお金が多く集まった場合は、どこかの会場を借りて、ミュージカルを披露したりする予定はありますか？

**【クルック・ソングメイツ】**

そうしたいです。

## ★潮江中防災プロジェクトチーム

～防災学習の取り組みと地域防災への啓発・貢献～

### 【潮江中】

これから潮江中での防災教育の実践を発表します。

潮江中学校では、2年前から防災教育に取り組んでいます。まずは自分の命は自分で守ることを学びました。

目的は、地域貢献型防災協力を目指しています。

「地震に注意」。このポスターを1か月かけて制作しました。そして、地域のイベントに参加して、ポスターを配布しました。

校区の3小学校での合同授業を行いました。学校内には「防災通り」を作り、意識を高めました。

これは和歌山県の「稲村の火」です。8月31日には防災展示館がオープンしました。ここで展示しているものをいくつか紹介します。

津波救助艇「まんぼう」、災害用循環型トイレ、雨水を飲み水に変える機械の「防災王」、非常食などを展示しています。その他、救命用ボート、簡易トイレ、救命胴衣。

これは津波をイメージした絵です。

昨年には、校区の高齢者100人と一緒に、屋上への避難訓練をしました。このようなことがNHKや沢山のテレビ局から取材を受けました。

今年の活動と活動予定。防災甲子園に見学に行きました。

高知市の防災講演会に発表に行きました。高知工業と高知大学との防災学習会を行いました。第1回潮江こどもフェスティバルから参加しています。測量の日記念講演では、宮城県での大地震を経験した方のお話を聞きました。高知丸高の堤防の工事現場に全員で行き、堤防の重要性について学びました。沿岸部と山間部と学校との防災交流会を行います。

こどもファンドの使い途は、ガラス飛散防止フィルムを貼る活動と、「避難所カルタ」を作成して幼稚園などに学習会に行く予定です。

ここで、ガラス飛散防止フィルムを張ったガラスを割る実験をします。今からガラスを割ります。

～実験～



このようにこれを貼ることによって、ガラスの飛散を防ぐことができます。ご静聴ありがとうございました。

**【安岡審査員】**

ガラス飛散防止フィルムっていうのは、防災意識の高まった各個人とか各施設が対応するものかな、と個人的には思ったんですが、それについてはどうですか？

**【潮江中】**

ガラス飛散防止フィルムは、僕たちが学習して校区の3小学校や保育園、幼稚園などに貼りに行く予定です。

**【家古谷審査員】**

ガラス飛散防止フィルムですけど、不公平が出てくると思うんですけど。小学校とか幼稚園とか各学校とかは予算を取られてると思うんですが、そういったところはどう考えていますか？

**【潮江中】**

そこらへんはちょっとまだ考えてません。

**【家古谷審査員】**

学校で予算がおりるとして、高齢者の家に貼るとした場合、50枚じゃ足りないと思うんですけど。予算的に、他の不公平が出てくると思うんですけど。

**【潮江中】**

僕達の防災プロジェクトチームの担当の三浦先生をお願いします。

**【潮江中 大人サポーター】**

不公平さは出てくると思うんですけど、そのあたりは高齢者や小学校、幼稚園と話し合いをしながら、平等に貼ろうと考えています。



**【田部審査員】**

「カルタ」はどんなものを作るんでしょうか？

**【潮江中】**

避難所や避難ビルなど、校区の幼稚園や保育園などに分かりやすく美術部が絵を描いたり、これから全校で内容などを集めたりして、園児にわかりやすく遊んでもらって、学習してもらったりしたいと思っています。

**【井上審査員】**

カルタは保育園児には難しいと思うんですけど、どうでしょうか？

**【潮江中】**

保育園児にも分かりやすく、平仮名とか、難しいことはいれずに分かりやすく、防災の基礎的なものを学んでもらえたらと思っています。

**【池上審査員】**

「避難所カルタ」ですけど、これって手作りで作るんですか？

**【潮江中】**

はい。僕たちの潮江中学美術部が絵を描いて、僕たち防災プロジェクトチームが標語とかを考えて作ります。

**【池上審査員】**

具体的に、何組くらい作る予定ですか？





**【潮江中】**

20セットです。約。

**【宇賀審査員】**

どうして「カルタ」にしたんですか？

**【潮江中】**

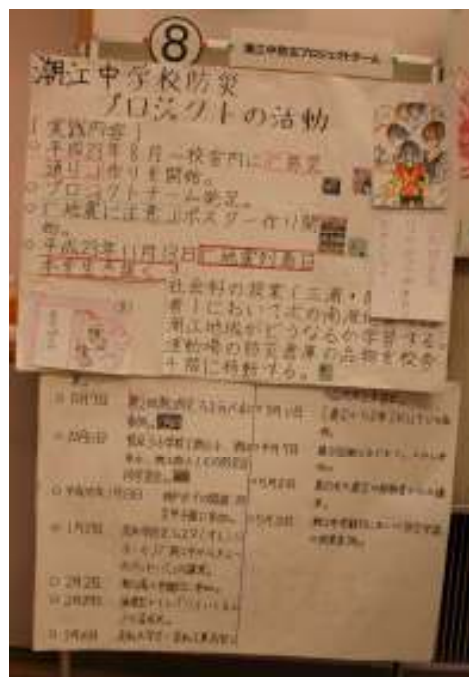
先ほど言ったように、小さい子ども達、園児達に分かりやすく、防災について学んでもらおうと思ったからです。

**【宇賀審査員】**

けど、カルタじゃなくても、小さい木で作ったパズルとかでもいいと思うんですけど。

**【潮江中】**

それは検討してみます。



# 【 こども審査員による一次判断 】

こども審査員9名が「いいね」「まよっている」「もうちょっと」の3区分で一次判断を行う。

こども審査員が審査の際に何を重要と考えるかの“審査ポイント”は、こども審査員に対して行う事前研修会の中で、こども審査員が全員で話し合い、決めた項目を使用する。

## 【審査のポイント】

- ①本気か
- ②地域の人と協力できるか
- ③地域のためになるか
- ④工夫があるか



## ☆一次判断の結果☆

発表 No.	団体名	一次判断		
		いいね!	まよっている	もうちょっと!
1	太平洋学園 コミュニティー協力隊	●●●●●●	●●●●●	
2	瀬戸東町1・2丁目元気キッズ	●●●●●●●●	●●	
3	こじゃんと!土佐チル	●●●●●●●●●●	●	
4	高知市立横浜中学校生徒会 「横中ボランティアの会」	●●●●●●●●●●	●	
5	高知市立愛宕中学校生徒会	●●●●	●●●●●●●●	
6	高知市立旭中学校生徒会 ～防災ASAHIの会～	●●●●●●	●●●●●	
7	大津子ども会連合会 「クルック・ソングメイツ♪」	●●●●●●●●●●●●		
8	潮江中防災プロジェクトチーム	●●●●	●●●●●●●●	



## 【 審査員による公開審議 】

### 【卯月審査委員長】

それでは、これからおよそ50分間、こども審査員と大人審査員の協議をします。少し進め方についてお話をします。

このこうちこどもファンドは、冒頭の吉岡副市長のご挨拶にもありましたように、子どもがこういった活動をしたいと申請して、子どもが審査・判断をするということを前提としています。したがって今日も、9人の子ども審査員が第一次判断という形でこうしました。大人審査員の役割は何かということですが、実は大人審査員には最終投票権はありません。しかし、子どもが一次判断で迷っているというものについては、大人はこういうふうを考えるよということ、ここでアドバイスして、子どもと大人の意見の違い、あるいは子どもがある判断をするのを助けるという役割で大人の審査員がいるということを理解していただきたいです。従いまして上から順に、1番の太平洋学園から8番の潮江中まで、主に「まよっている」という票が入ったところに、かなりの時間を費やししながら、50分をうまく配分できたらいいなと思っている次第です。それでは進めたいと思います。



## 太平洋学園コミュニティー協力隊

### 【卯月審査委員長】

9人の審査員のうち5人がいいじゃないかと言っておりますが、4人は今まだ迷っているので、どういう点で迷っているのかを発表してください。シールナンバーが1番、2番とありますから、田部さんと西田さん。特段なければ無理にじゃなくてもいいんだけど、もし迷っているこんな理由があるんだけど、っていうのがあれば言っていただけますか？

### 【田部審査員】

太平洋学園コミュニティー協力隊で迷っているっていうのは、まだ考えがまとまってないところが多くあって。いいことをしているなっていうのもあって、いい面と悪い面があって。そこでちょっと迷ってます。

### 【卯月審査委員長】

分かりました。西田さん。

### 【西田審査員】

夜中のお花見とかお月見とかで、夜中の騒音があるっていうことに対しての配慮がまだ出来てないのかなって思ったので。もちろんいい面も沢山あるので、それでまだ迷ってます。



### 【卯月審査委員長】

はい、ありがとうございました。それから8番、9番、森田君と池上君ですかね。どちらから？

### 【池上審査員】

地域との交流をする目的というのはなんですか？



**【卯月審査委員長】**

というのが疑問ですか？

**【池上審査員】**

はい。というのが疑問です。

**【卯月審査委員長】**

はい、分かりました。森田君。

**【森田審査員】**

池上君の意見と似たところがあるんですけど、今後地域で活動を一緒にやっていくなら、この協力隊の皆さんだけでなく、僕個人的には学校全体の取り組みにして欲しいなというのがあって、ちょっと迷っているという票を入れさせてもらいました。



**【卯月審査委員長】**

分かりました。それでは大人の審査員に聞きますが、田部さんと西田さんに共通しているところ。いい点も悪い点もあってどうしようかなということで、一つだけ、夜のイベントについて地域の方たちへの配慮が少し不安だということ、これについてはどうでしょうか？新藤さん。

**【新藤審査委員】**

夜のイベントということと、地域との関係が悪くなったら心配だということなんですが、むしろそのことについて話し合うということが地域と交流を深めるというか、対話をしていくひとつになるんじゃないかなって思うんですね。こういう時間にやったらいいよとか、こういうふうにやったらいいんじゃない？ということ、むしろ夜のイベントをやるということについて、この協力隊のみんなが地域の方に相談していく、ということが地域の人たちには嬉しいし、こうしたらいいんじゃない？というアドバイスをもらえるような機会になると思います。で、この夜のイベントをやるということ自体も、対話のひとつの材料というふうになるのかな、と思いました。



**【卯月審査委員長】**

そのコメントは、池上君の質問の回答に半分くらいだったかなと思いますが、そのほかの大人の委員で、今の子どもたちの不安に関して、何かアドバイスはありませんか？坂本さん。

**【坂本審査委員】**

説明の中のゴミの問題で、どうやってゴミを集めるのかなどあったと思うんですけども、そういったことも、先ほど新藤委員が言われたように町内会と十分に話をすれば、例えば町内会のステーションに出してもいいよとかですね、場合によっては地域が綺麗になるわけですから、継続していくとすれば地域の方々から寄付金をもらえるとか、いろいろやり方はあると思います。地域と話をしていくことによって、地域のためになる。または地域が発展していくことに繋がるんじゃないか、十分に地域と連携できるんじゃないかなと、そういう気がしました。



**【卯月審査委員長】**

池上審査員、何かありますか？いいですか？大人はこう考えているってということで、参考意見ということで。森田くんの指摘は学校全体でしたらいいんじゃないかっていう要望っていうか希望ってことですね。実際に太平洋学園に聞いてみましょう。騒音やごみのこととか、心配がいくつかある。そ

ういうのは地域の人たちとこれから話していつて解決したらどうかと、あるいは学校全体でもっと取り組みをしたほうがいいんじゃないかということで、迷っているという意見があったんですが、いかがですか？今後の取り組みを少し聞かせてください。

#### 【太平洋学園】

学校全体でやるべきだというのは、もちろん僕もそうだと思います。ボランティアをやる人は多ければ多いほどいいと思います。なので、出来るだけ増やしていきたいんですけど、これを僕たち生徒だけの力でやるのは難しいので、その辺は、先生等大人の力をかりて、進めていきたいと思っています。

#### 【卯月審査委員長】

僕は3年間の計画っていうのがとても重要じゃないかなと思います。去年はいくつか反省するべき点もあったということなんだけれども、むしろだんだん主体的に皆さんがなっていて、慎重に地域の方と色々お話を伺いながら、2年目3年目と中長期的に進めていただければ、かなり地域にとっても学校にとっても好ましい活動になるのかなという感想はちょっともちました。森田君いいですか？じゃあ1番目こんな形で。別に結論を出すわけじゃありません。問題点が色々出たので、それに対する大人の審査員と子ども審査員の少し意見の違いを明らかにして、最終的にはまた子ども審査員に判断してもらおう、ということです。

## 瀬戸東町1・2丁目元気キッズ

#### 【卯月審査委員長】

では瀬戸東町1・2丁目元気キッズ。4番と5番の審査員から。宇賀さんと井上さん、ちょっと気になった、迷ってる、という点を聞かせてください。

#### 【井上審査員】

やっぱり幼い子が多くて、そこの部分が心配になりました。活動する時も疲れがやっぱり溜まると思って、ちょっと迷ってるにしました。

#### 【卯月審査委員長】

宇賀さんは？

#### 【宇賀審査員】

私も同じような意見で、まだ小さい子が沢山いるので、疲れるのもあるし、怪我をしたら危ないのもあるから迷っているにしました。

#### 【卯月審査委員長】

確かに、宇賀さんも井上さんも同年代というかもっと下の子もいるから少し不安がある、ということかもしれませんね。これはむしろ大人の審査員より担当の大人サポーターの方いらっしゃいますよね。今、子ども自らがそういう心配をしているんですが、小さい子のケアとか安全とか、そういったことに対する配慮はいかがですか？

#### 【元気キッズ 大人サポーター】

貴重なご意見をありがとうございます。地域には年齢さまざまであり、小さい子どもの疲れだとかはですね、その子に応じたものづくりだとか関係性をもって、小さい子どもにはそういった形で、臨んでいただきたい。それで、あとは小さい子どもに対して、上の子が面倒を見ていくという意識。やっぱり小さい子どもは育ていった小学校の高学年であったり、中学生であったり、高校生であったりが小さい子の面倒を見ていく。もちろん危ないことをしたら、大人の目線じゃなく子どもの目線で叱ってもらったりということもお願いしたいなと。子どもだけで活動する時は、やっぱり多年齢であ





った方が、いろんな今審査されている子どもさんも年齢さまざまありますが、そういった活動にも年齢さまざままで臨んでいきたいなと思っております。

**【卯月審査委員長】**

はい、ありがとうございました。実際に小学校高学年、中学生、高校生のメンバーも一緒に活動していらっしゃるんですか？

**【元気キッズ 大人サポーター】**

そうですね。先ほど発表もあったようにですね、去年度にいたっては体験というかたちでやらせてもらいました。もちろん、小さい子どもさんが苗を植えた時には、根を傷めてしまって育たなかったことも中にはあります。けど、やっぱりそれを見てもらったときに、次どうやっていったらいいのか、また体験していく中で、上の子どもが下の小さい子どもにこうやっていくんだよ、と教えていく伝えていくということが出来ていましたので、こういった形をとらせていただきました。

**【卯月審査委員長】**

はい、分かりました。発表が小さい子ばかりだったのでちょっと不安になっちゃったのかもしれませんが、もうちょっと上の学年の子もいるということで。宇賀さん。

**【宇賀審査員】**

その面倒を見るということで注意をした時に、喧嘩をするということはないんでしょうか？

**【元気キッズ 大人サポーター】**

今まで喧嘩になるのは兄弟同士です。兄弟同士は喧嘩をします。ですが、それも喧嘩をすればどうなるかというのは、本人同士も重々に分かって帰っております。それに、上の子からも「何しゆうが」「やめやー」という言葉は多々あります。

**【卯月審査委員長】**

はい、ありがとうございました。他に質問はないですか？。では次にいきたいと思えます。

## こじゃんと！土佐チル

**【卯月審査委員長】**

こじゃんと！土佐チル。7番の人は、家古谷君かな。ちょっと心配、という点を教えてください。

**【家古谷審査員】**

もう少し他の人が参加できるようなものを考えたほうがいいんじゃないかな、と思いました。

**【卯月審査委員長】**

メンバーが限られているんじゃないか、という懸念ですか？

**【家古谷審査員】**

とか、観に来た人がもう少し参加するのがあったらいいんじゃないかな、と思いました。

**【卯月審査委員長】**

一方通行にならないようにということですね。その辺も当事者に聞くしかないですね。さっきちょっと答えがあったと思うけれども、できる限り演じる側の子どもたちだけではなくて、来てくれた子ども達も参加型でして欲しいなという希望があるようですが。ちょっとコメントしてくれますか。



【土佐チル】

メンバーっていうのはやる側じゃなく、見てもらう側のことですか？

【家古谷審査員】

はい。

【土佐チル】

参加型を考えたのは、今年度なので、昨年度は見せるだけになってしまったので、確かにマジックとかで一体感を図るのは難しいと思います。けど、それだけが目的じゃないんです。笑顔と感動を届ける、一緒に楽しむっていうよりは、マジックもクオリティを高くしているので、それを観てもらって、わーすごいと思ってもらえるのが目的であって、ダンスとかはやっぱりこれは会場の人と一緒にっていう考えなので、一方通行っていうのは…。でも、もともと一方通行なんですよ。そういう見せるものは、それを一体化していくっていうのは今からの試みなので、それは頑張ってる…。



【卯月審査委員長】

当日のイベントの中の話もあるけど、ひょっとしてそういうのを見ていいなあ、自分もやってみたいなあというのがあったら、その日じゃなくて次のイベントに向けてその会に参加するっていうのもあるので。その日だけじゃなく、参加型で常に門戸を開きながら、地域の人たちと交流する姿勢があればいいんじゃないかなあと大人は考えてます。綺麗ごとかもしれないけど。

【土佐チル】

ほんとにやりたかったら入ってくれていいです。

## 高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」

【卯月審査委員長】

では4番目いきたいと思います。横浜中学校、これも7番の方ですね。

【家古谷審査員】

毎年毎年、ゴミ拾いするだけであって、その防止策というのがあってもいいかなと思ひまして。

【卯月審査委員長】

なるほど、これも素晴らしいね、視点として。ゴミを捨てるだけではなくて、なるべくゴミを捨てないような活動の形に発展するといいなというご意見ですが、どうでしょうか？



【横中ボランティアの会】

そうですね、ごもっともな意見ですが、僕たちのやっているゴミ拾いの活動は、7月の浦戸湾七河川一斉清掃や8月の88クリーンウォークなので、僕たちが主催するものではないです。基本的に僕たちが主催するものは規模が小さくなって、校区の一部になってしまうので、ゴミを捨てないような活動っていうのは、ゴミを捨てないでくださいって呼びかける活動っていうか、そういう活動になってしまうと。僕たちの活動の目的・モットーは、まちづくりの一環として、僕たちがゴミ拾いをして清掃活動をするという活動なので、そういうゴミを捨てないでって呼びかける活動になってしまうと、まちづくりをする主役ではなく脇役になってしまう。と僕は思うんですよ。

なので、僕達がそういう活動を執行部内でも発案せず、校内で誰もそういう活動をしてくれといわな

いことでもあります。ゴミ拾いじゃなくてゴミのポイ捨てを予防する活動になってしまうと、主旨から外れてしまうんじゃないかなと思います。すみません。ちょっと付け加えさせていただきたいんですが、ゴミ拾いなどのボランティア、横浜中学校が主体となって行っているゴミ拾いという活動は少ないんですが、そのボランティアに参加してくれた横浜中学校の皆さんに感想を聞いて、それを紙に書いてもらい執行部に提出していただいて、それを生徒会便りや全校の横浜中学校の学校通信などに記載して配布することで、そういう意識付けや、もっとこんなボランティアがあるんだったら僕もやってみたい、私もやってみたいっていうのを、そういうふうに思ってもらえるような活動というか、ゴミをポイ捨てしないようにする大切さを訴える、そういうふうに考えてもらうような工夫はしていきたいと思っています。

**【卯月審査委員長】**

はい。ちょっと大人の意見も聞いてみましょう。古谷さん。

**【古谷審査副委員長】**

やはりこういう活動をしていると、していない人では、例えばしていない人は捨てている人かもしれない。でも実際自分達の仲間がこういう活動をしていると、そこにやっぱり捨ててはいけないというそういう意識が多分芽生えると思います。ですから、改めてゴミ捨ての防止策をしなくてもそういう意識は皆さんの中に培われているんじゃないかと私は思っています。



**【卯月審査委員長】**

はい、どうぞ。

**【宇賀審査員】**

脇役になっても参加してるんだからいいと思うんですけど。やろうって思える、参加している人たちが優先ってわけじゃないですけど、主役になるほうが先だと思うんです。だから、自分が主役じゃないといかんって思うんだしたら、それをまずやめたほうがいいと思う。

**【卯月審査委員長】**

ちょっと分かんなくなっちゃった。まず、ボランティアをしている人が主役だから、それはそれでいいんじゃないかっていうことですか？

ボランティアでゴミを拾っているような活動は、僕の知っているなかでも、日本全国たくさんあります。横中の人は知らないけど、横中ボランティアの会っていうジャンパーを着ながら集団でやっていると、あ〜、ああいう中学生がやってるんだから自分はもう捨てるのやめようかなっていう、先ほど古谷さんが言われたようなそういう広い運動でもあるので、捨てないでくださいってダイレクトに言うことだけがゴミを捨てないことを訴えてるわけではないので、間接的になっていうのかな、やってることになるのかなって思いました。だからあんまりせせこましくやらなくて、堂々とやったほうがこういう活動はいいかなと思います。

## **高知市立愛宕中学校生徒会**

**【卯月審査委員長】**

さてじゃあ次5番目、愛宕中学校生徒会。これは6つ疑問だ、ということがあります。まず1番、2番ということで、田部さんと西田さんいきましよう。

**【田部審査員】**

愛宕中学校で迷っているのは、風鈴だけしか考えてないことで、もちろん風鈴で活性化するっていうのはいいと思うんですけど、他の季節のことを考えてないっていうのが。そこで迷ってます。

**【西田審査員】**

田部さんとほとんど同じ意見になっちゃうんですけど、風鈴っていろんなメッセージがかけるのはいいと思うんですけど、他の季節にもないっていうのが残念だと思って。

ただ風鈴がすごい良かったのでまだ迷ってます。

**【卯月審査委員長】**

なるほど。それでは引き続き、続けて質問をお願いします。

**【宇賀審査員】**

私も風鈴っていうのはいいと思うんですけど、夏だったらスイカとか夏に関するものを描いたり、季節ごとに絵を変えたらいいと思って、それでまだ迷ってます。

**【卯月審査委員長】**

なるほど、積極的な提案でしたね。井上さん。

**【井上審査員】**

私ももう少し先のことを考えればいいと思うんですけど、風鈴だけだと夏じゃないですか。やっぱり。だから、ちょっと持続性があるような違うものを、まず地域の方々と話してもらって、その中で地域を活性化するというのも出来るんじゃないでしょうか？

**【卯月審査委員長】**

地域の商店街の方とも話し合って、他の季節のことも考えていけそうですか？

**【愛宕中学校生徒会】**

はい。いけます。

**【卯月審査委員長】**

あと3年生が多いという指摘があって、2年生、1年生と引き継いでいっていいのかな、そういうことも大丈夫ですか？



**【愛宕中学校生徒会】**

風鈴のことで付け加えるんですけど、風鈴は夏に限ってしまうけど、他の季節も生徒会が中心となってその季節に合ったものを作ったりして、他の季節は別のものを飾っていいこうという考えもありますし、継続的にやっていく中で、今日はいないですけど生徒会の中に2年生の人もいるので、そこから引き継いで他の学年にも継続的にイベントを行っていくようにしていきたいと思います。

**【卯月審査委員長】**

はい、分かりました。いいですかね。一応そういう決意を表明してもらえたということで判断してください。

## **高知市立旭中学校生徒会 ～防災ASAHIの会～**

**【卯月審査委員長】**

さあ、6番目いきましょう。旭中学校生徒会、これは4つ入ってます。1、2番だから田部さん、西田さん意見を聞かせてください。

**【田部審査員】**

予算で気になっていたことが、教授の方に来ていただいた時の謝礼が、ちょっと多いな～って気になってます。

**【卯月審査委員長】**

はい、分かりました。西田さん。

**【西田審査員】**

講習の時の地域の方の参加がまだ分からないっていうのが一つと、あと防災マップとかも配布するものについての段取りがまだ出来てないっていうので、ちょっと迷っています。



**【卯月審査委員長】**

分かりました。7、9だから家古谷君と池上君。

**【家古谷審査員】**

全校生徒が聞くのであれば、学校もお金を出してくれると思いますし、あとマップを作った後に、近所の人と一緒に歩いてみるとかいうのも付け加えたらいいなと思います。

**【卯月審査委員長】**

はい、分かりました。池上君。

**【池上審査員】**

地域の方が参加されるかというのが不確定というのが…。去年の学ぼう災にもほとんど参加されてなかったにも関わらず、宣伝とかもする予定がなかったということで、ちょっとその点が甘いかなと思ったことと、このご時世、学校行事に地域の方が参加してくれることって少ないと思うんで、もっとそういうところを宣伝とかして広げていってくれたら、僕もいいねにします。

**【卯月審査委員長】**

分かりました。若干の謝礼の話と、地域の方々の参加が少ないんじゃないかっていう、なかなか確保できないんじゃないかっていう不安がありますが、ぜひ大人の審査員の方コメントをお願いいたします。



**【廣井審査委員】**

今までの学ぼう災が、教員の方や大人の方が主導でやっていかれようのを、子どもというか生徒さんが、ついていかされようだけという状態を止めて、自分たちで考え、岡村先生を呼ぼう、今年からやっついこうと思っている、というその思いが素晴らしいと思います。地域の方を呼ぼうっていうのも、まだ今はつめれてないけど、この学ぼう災を、みんなでやろうっていう自主性の中から、これから皆さんで考えていかれていくことだと思うので、私はすごい楽しみだなんて思います。

**【卯月審査委員長】**

他に大人の審査員でご意見は？新藤さん。

**【新藤審査委員】**

発表の中で、学校が高台にあるのであまり地域に意識がなく、自分たちで盛り上げていきたいっていうのを発表していたと思うんですけど、それって凄いなと思うんですけど、地域の方はあんまり、南海大地震について色んなとこ、例えば潮江地区とかがいっぱい活動されている中で、自分たちの地域はそうじゃない。だから盛り上げていきたいっていう、その気持ちがいいなと思ったのが一つです。

そういった地域とか学校の状況を考えた時に、岡村先生を呼ぶっていうのは結構ありがたかったです。いま全国的に非常に有名な先生なので、岡村先生が話すんだったら、というところで地域の方々の目を惹きつけるってことが出来るんじゃないかなって思いました。ただ、お金のこととかその辺は今後要相談っていうことで、企画案という生徒さんたちが考えてる内容自体は、地域のニーズにマッチしてるし、とてもいいことなんじゃないかなって思いました。

#### 【卯月審査委員長】

はい、じゃあ旭中学生徒会に聞きましょうか。目的とか主旨はいいんだけど、若干準備不足っていうのかな、計画を練るところに不足があったかもしれない。それで今後やっぱり地域の方々にきちっと参加していただくとか、もちろん先生をお呼びするのもこちらの主旨を伝えて、もし安くしてくれるんだったらとか安いほうがいいとか、色んなことを考えたほうがいいという指摘なんですけど、そういったことに関してはどうですか？



#### 【防災 ASAHI の会】

沢山の意見をありがとうございます。まず、先ほどのプレゼンの中で言えなかったことがあるんですけど、今年も旭地域のお祭りに旭中学生徒会は参加させていただいて、そのお祭りでは沢山の地域の方が来てくださるんで、その中でも宣伝していきますし、今年は保健体育の委員会があるので、それが、体育祭を地域にも呼びかけようっていうのを計画してるんで、それに加えて学ぼう災をやっていこうっていう計画なんで、今年は去年やれなかった地域との交流っていうのを、より一層ちゃんと計画してやっていくつもりなので、地域との連携っていうのは、今のところ1年間を通して計画が出来てるんじゃないかなって思ってる状況です。そして防災マップは、全校生徒でボランティアを募って、1軒1軒回って配っていきたいと考えています。謝礼金についてはまだ具体的には決まってないので、これからまた検討していきたいと思っています。

#### 【卯月審査委員長】

はい、分かりました。いいですか？判断がつかましたか？ありがとうございます。

## 大津子ども会連合会「クルック・ソングメイツ」

(子ども審査員9名全員が「いいね」を選んでいため、審議なし)

## 潮江中防災プロジェクトチーム

#### 【卯月審査委員長】

それでは最後になります。潮江中学防災プロジェクトチーム、これも6つ迷っているに入っています。

1番、田部さん。

#### 【田部審査員】

この潮江中学校で迷っているのは、カルタで幼稚園児が平仮名とかで書いていても、本当に理解をしてくれるのかっていうのがちょっと気になって、けど、カルタっていうのはいいと思うので、カルタでいいけど、幼稚園児が本当に理解出来るのかなっていうのが気になります。





**【卯月審査委員長】**

はい、分かりました。次は4、5番だから、宇賀さん、井上さんかな。

**【井上審査員】**

田部さんと同じ意見で、保育園児にはちょっと理解しにくい部分もあると思うので、幼稚園児にあったカルタ、小学生にあったカルタというように、それぞれの年にあったカルタを作ったらいいと思います。

**【卯月審査委員長】**

はい、宇賀さんは？

**【宇賀審査員】**

私も同じような意見なんですけど、カルタでもいいかもしれませんが、本当に理解が出来るか？本当に楽しみながら理解できて将来のためになるかとかを考えて、迷ってるにしました。

**【卯月審査委員長】**

はい、ありがとうございます。では次は7、8、9番の人。

**【家古谷審査員】**

前に言ってくれた審査員の方とかぶりますけど、やっぱり幼稚園児がそこまで防災を考えようのか、幼稚園児には紙芝居でも小学生になってカルタを、でもいいと思うし、ガラス防止飛散フィルムを不公平にならずに配る方法を聞きたいなと思いました。



**【卯月審査委員長】**

はい、ありがとうございました。森田君。

**【森田審査員】**

僕はプレゼンが途中で終わっちゃったんで、最後までそこを聞きたいなっていうのと、申請書の活動の目標に、防災展示館と防災学習室があって、防災学習室は勉強することを目的としているのと、また保護者や地域の方たちも学習してもらえる面もあるって書いてるんですけど、それについてほとんど触れてなかったんで、具体的にやってることと、これの必要意義を詳しく聞きたいなと思って迷ってるにしました。



**【池上審査員】**

僕も多分家古谷さんの意見と重なると思うんですけど、飛散防止フィルムを高齢者の方々に平等に配ることが可能なのかっていう点が疑問なんです。高齢者の方ってすごいきると思うんですけど、その中で平等に50枚を分けるっていうのが可能だとは僕は考えられないんで、不平等が生じるかなと思って僕は迷ってるにしました。

**【卯月審査委員長】**

分かりました。3つあったかと思います。年齢に応じてカルタだけではなく、いくつかのメニューがあってもいいんじゃないかという指摘、それからフィルムの重要性は分かるけれども、今回50枚配るという形で、本当に地域に平等に配ることができるのか、それから三つ目は潮江中学校が防災についての沢山の施設、展示館を持っているけれども、それとどういう関係があるのか、というこの3つだったかと思います。当事者に聞く前に、ちょっと大人の方も意見があったら。はい、古谷さん。

**【古谷審査副委員長】**

ガラス飛散防止フィルムを平等に配るということ、これは本当に50枚



という枚数からはなかなか平等にいくというのは難しいと思うんですけども、今日のプレゼンのときに飛散フィルムを貼った状態でのガラスを割っていただいたことで、どれだけこのフィルムが重要かということが私は目の当たりにすることが出来て本当によかったと思っています。ですから、平等に配ることはできなくても、これを購入して、出来るだけみなさん購入して貼ることをすすめていく、出前のような授業のような、皆さんにこれを伝えていくということをしてもらいたいかなと思います。



#### 【坂本審査委員】

非常に先ほどのプレゼンを聞いていましたら、モデル的というか先導性が非常にあると思うんですね。やはり幅広く広げていくために、どこかで試行的なとか実験もしてやってみるとか、それがいい結果が出ればみんなに広めていくという取り組みではないかなと思ひまして、例えば今回のカルタにつきましても、対象をもう少し絞ってみるとか別の方法を考えてみるとか、まず試してみてもやるということも非常に重要ではないかなと思ひますので、そこはどういう広め方をしていくのかという工夫もしていただければいいかなと思ひております。

#### 【卯月審査委員長】

ありがとうございました。それでは申請した潮江中の方に聞きたいと思ひます。もしあれば大人のサポーターの方でも結構でございます。

#### 【潮江中 大人サポーター】

はい、時間がもうないのでこちらからお話します。まず飛散防止についてですけども、潮江地区は3万人いますので、3万人の家に貼るということは物理的に無理です。幼稚園や小学生などの低学年の施設や、高齢者宅などから貼ることを考えています。

これから30年、40年以内には、高い確率で、南海地震が起こると予測されています。中学生がこの活動をする事で、そのことを、高知県に発信していけると考えています。

それからカルタですが、1歳とか2歳児が平仮名を読むことは無理です。でも、年長者なら先生に読んでもらうことが出来ます。実際に、2年前に、全ての幼稚園・保育園にポスターを持って、中学生がプレゼンに行った実績があります。

潮江地区は、保育園・幼稚園、小学校、中学校と防災教育に熱心に取り組んでいる地域です。

保育園や幼稚園で、このカルタを使った学習会をしてもらい、その後、小学校にあがれば小学校にあがったで、引き続き、防災教育を進めていってもらおうというように、幼稚園、小学校、中学校とで連携した防災教育を行っていきたくて考えています。



最後に、防災展示館について説明不足だったんですが、展示館がオープンして、県内外から沢山の訪問者があります。その度に、この子供達が取り組みを発表をして、それから県内外の防災商品の業者の方たちも、すごく協力してくださり、商品を置いてくれています。いま、高知県が5月に南海大地震についての予想を立てました。最悪で4万2千人です。でも、一人ひとりが対策をしていいたらそれが1万人に減ったり、分かりませんがゼロになったりするんですね。

そういう防災教育を中学生を通して、県内外に発信していくことを目的としています。まずは地域から足固めにして取り組んでいます。

**【卯月審査委員長】**

はい、ありがとうございました。先生の情熱がすごく伝わってきたね。最後に中学生からもう一言。中学生から、今の僕が挙げた3つの問題点について、誰か発言してくれますか？

**【潮江中】**

僕たちが言いたいことは、先ほど担当の先生が言ってくれたので、言うことはありませんが、もう、よろしくをお願いします。

**【卯月審査委員長】**

分かりました。ではこれで、1番目から8番目まで「まよっている」と、こども審査員が判断をした問題点について一応議論をしましたが、こども審査員は判断が出来ましたか？もう迷っている時間はありません。もういいですか？いいですね。ありがとうございました。ではお時間になりましたので、この辺で大人審査員とこども審査員の意見交換を終了します。どうもありがとうございました。



# 【 市長あいさつ 】

## ★到着のあいさつ

高知市長 岡崎 誠也

皆さま、こんにちは。2回目のこうちこどもファンド公開審査会ということになりますけれども、こども審査員の皆さま、また大人の審査員の皆さま、大変ありがとうございました。

今年は8団体からの発表ということで、それぞれやっぱり時節柄といえますか、防災関係の提案を大変多くいただいております、子どもさんも次の南海大震災、自分たちの家族、自分たちの学校、そして友達を守らなければならない、それぞれの強い思いがあるというふうに思っております。

防災関係も、単にこれまで地域が取り組んできたことではなく、子どもさんならではの、それぞれの視点で新しい提案も出てきておりますので、私達も今後の展開が非常に楽しみにしております。

また、それぞれの地域から出ております団体の皆さまも、昨年に引き続き出ておられる団体もおりますので、プレゼンの時に私は間に合いませんでしたけれども、昨年以上に素晴らしいプレゼンが出来ていたというふうに報告を受けており、審査の結果についても非常に楽しみにしております。



今日参加いただきました皆様方、恐らくご承知の通り、子どもさんも様々な分野で、まちづくりや、この地域がこうなったらいいなということを強く感じ、そのことを考えております。

なかなか普段は発表の機会がないので、我々もこういう発表の場を大切にしながら、そしていい提案であれば、出来るだけそれを我々も後押ししていきたいと思っております。

また、審査発表の後に、事業が採択されましたら、我々も地域の皆さまと一緒に成りまして、それぞれのご提案を後押ししたいと思います。そして今日提案していただいた子どもさんが、高知に残られているか県外に出てらっしゃるかは分かりませんが、それぞれの形で高知を支え、発展していけることを確信しておりますし、またそのことを強く期待をしているところでもあります。

このこどもファンド、皆様方のお力によりましてしっかりと育ててまいりたいと思っておりますので、どうかご支援賜りますようお願いいたします。

今日は本当にありがとうございました。

## 【 審査結果発表 】

### ☆審査結果発表

#### 古谷審査副委員長

副委員長の古谷でございます。皆さんの素晴らしいプレゼンを拝見させていただき、ありがとうございました。

それでは、審査結果を発表させていただきます。

本日は皆さんが頑張ったおかげで、8団体すべてのチームに助成が決まりました。助成の金額は、

- 太平洋学園コミュニティー協力隊、20万円。
- 瀬戸東町1・2丁目元気キッズ、20万円。
- こじゃんと！土佐チル、20万円。
- 高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」、12万円。
- 高知市立愛宕中学校生徒会、20万円。
- 高知市立旭中学校生徒会～防災ASAHIの会～、20万円。
- 大津こども会連合会「クルック・ソングメイツ♪」、20万円。
- 潮江中防災プロジェクトチーム、20万円。



このような結果となりました。緊張をして、日頃の力が出なかったチームもあったかもしれませんが、非常にみなさん頑張って発表していただいたおかげで、こども審査員、大人審査員の気持ちも一つになりました。

今後の活動を頑張ってください。

そして、来年3月の報告会も楽しみにしています。おめでとうございます。



## ☆こども審査員からの感想発表

### 【田部審査員】

みんなの気持ちがすごく伝わってきて、全部の団体に助成をしたいと思い、それで全てにシールを貼らせていただきました。みんながほんとにやろうと思ったことが、プレゼンで伝わってきて、とても自分の勉強になったと思うし、いい経験になりました。また3月の報告会も楽しみにしていますし、審査員もまたやりたいと思います。

ありがとうございました。



### 【西田審査員】

どの団体もとても熱意が伝わってきて、私自身もすごくいい体験をさせていただきましたし、とてもいいことを学ばせていただきました。来年の3月に、皆さんから報告していただけるのを楽しみにしています。

本日はありがとうございました。



### 【河野審査員】

8団体の人のこういうところをこうしたいというのが強く伝わってきて、僕も助成しあげたいという意識が高まり、1次審査と最終審査、両方にいいねのシールを貼りました。8団体すべてのプレゼンテーションを聞いてすごくいいと思いました。

今日はありがとうございました。



### 【宇賀審査員】

どの団体もすごく頑張っていたし、全部の団体が助成できてよかったので、また来年も審査員をやらせていただきたいです。3月の報告も楽しみにしています。



### 【井上審査員】

みなさんが高知をこんなふうにしたいという気持ちがとても伝わってきて、とても嬉しかったです。

今日はありがとうございました。



### 【家古谷審査員】

申請書を見たときに、どういったことがしたいのか、本当にそれがしたいのか分からず、そのまま疑問に思っていましたけど、今日のプレゼンが素晴らしかったので、人の伝える技というか、そういうのが素晴らしいと思いました。来年3月の報告を楽しみに待っております。そして、8団体すべてに助成が決まっておめでとうございます。

今日は本当にありがとうございました。



### 【池上審査員】

皆さまおめでとうございます。去年と比べて僕が感じたことを2点挙げます。まず、去年よりプレゼンがかなり分かりやすくなっていたということです。あと、応募申請用紙がとても細かくてわかりやすかった点がいいと思いました。どの団体も地域のためにオリジナルのアイデアがあって、とても感動しました。これから活動本番に入るので頑張ってください。

今日は長い時間お疲れ様でした。



### 【安岡審査員】

楽しみにしていたんですが、3分という短い時間の中で高知市を良くしようとか、今年は地域の人と一緒に楽しんで広めていこうっていう団体が多いな、いいなと思ったのでこれからの活動を楽しみにしています。頑張ってください。

ありがとうございました。



### 【森田審査員】

僕も池上くんと同じように、去年と比べてパワーポイントを使ったりとプレゼン能力が非常に高くなっていると思いました。個々の団体さんも、自分達がやってきた活動を自分達でちゃんと課題発見して、それをまた解決していくという点で、今年は去年に比べて非常にレベルの高い審査会になったと思います。これに満足せず、高知市をどんどんよくしようと一緒に頑張っていきましょう。

どうもありがとうございました。



## ☆講評

### 卯月審査委員長

今日1時半から3時間ちょっと、本当に長い間ありがとうございました。退屈だな～という時間もあつたかもしれませんが、これほど長い時間を皆さんかけていただいて、本当にありがとうございました。

こういう審査会っていうのは比較的いくつもやっているんですが、こうちこどもファンドのような子どもが審査するっていうのは初めてで、こんなに3時間が楽しかった、まちづくりの勉強になったっていうのは、こんな時間の過ごし方は今までにそうなかったですね。

今、こども審査員の一人ずつの言葉を聴いて、僕ら大人審査員が言うことないねっていう、帰りたくなっちゃうくらいです。来年から、大人審査員はいらないかもしれませんね。本当に正直な気持ちでそう申しております。ただ、これだけ沢山の方がご支援してくださっているので、感想だけ、何点か簡単に、申し訳ないけど言わせていただきます。

池上君や森田君と重複する部分が多々あります。1つ目、昨年比べてプレゼンテーションの質が格段に良くなっていましたね。“楽しい！”“分かりやすい！”“情熱が伝わってくる！”。特に一つあげろと言われたらこれだね。『瀬戸東町1・2丁目元気キッズ』。僕聞いたよね、「どのくらい発表に練習したの？」って。みんな忙しくて1週間くらいですと言っていました。やっぱりあれだけ準備をするためには、企画の内容をみんなで議論しながら、どうやったら人に短い時間で伝えられるかと考えたから、わずか3分で我々の心を捉えたんじゃないかと思います。公開審査会が、紙に書かれた内容だけじゃなくて、実際に活動しようとしている子どもたちの顔、人の情熱を皮膚感覚で感じるということが主旨という点で考えれば、素晴らしい結果だったと思います。

2つ目、とても素晴らしいなと思ったのは、こちらにいるこども審査員です。昨年在りませんというわけではないけど、昨年は昨年で初めてだったから、いろんなとまどいがあったと思います。今回は質問がとても明確だった。短い時間の中でとても明確な質問をして、その質問に対してまた明確な回答があった。僕が特に感動したのは、大人の方はふにやふにやふにや～って誤魔化す傾向にあるんですが、「今考えてません。まだ考えてませんが、これから考えたいと思います。」っていう、とても真摯で素直な姿勢がありました。特に、質疑応答のやりとりで、回答された内容に対してまた再質問をするという場面がありました。審査の準備を、こども審査員がずっとしていたっていうのも事実ですけど、出てきた回答に対して再質問する。それは宇賀さんが言った、「お礼の手紙がきた時に返事は出しているんですか？」っていう質問に凝縮されています。それだけ真摯に回答も聞いているし、質問もその時に言っている。小学校4年生で最年少の審査員である宇賀さんが、中学校のお兄ちゃんお姉ちゃんに対してそういうことを言えるっていう、全く学年の差関係なく、高知を良くしたい、高知で活動するお兄ちゃんお姉ちゃんを少しでも応援したいっていう気持ちがとっても表れていまして、こども審査員の真摯な姿勢をととても感じました。

さらに3つ目、これも昨年より良かったなって思うのは、小学生だけ





中学生だけ、高校生だけっていう活動でもなく、小中高と3つにまたがったり、あるいは小中となっていたり、学年の幅のある活動があったことが、僕はとても良かったと思います。質問に答えにくい低学年の活動に対して、お兄ちゃんお姉ちゃんがきちんと答えてくれている。そういうまさに今回のこどもファンドの、多年齢という言葉がありましたけれども、ちょっと学校とは違う、学校だと学年っていうのはとても重要で、なかなか縦の繋がりがしにくい部分もあるかもしれませんが、こういった地域の中では多年齢の繋がりがあったということは感動でした。

また、我々がこうちこどもファンドの大まかなフレームワークを作った時には、お金のことはこどもの審査会の中では取り上げるのやめようと、むしろ大人の責任だろうと制御していたんですが、そうではないなということも感じました。たとえば、『横中ボランティアの会』は、これから自立するためにも20万円という満額ではなく12万円にして、だんだん自立する方向を目指していることや、『こじゃんと！土佐チル』については、“銀行員”という係を作って、大人がお金を管理するのではなく、自分達が管理しなければならないとしていました。お金に関しても、自分たちが少しずつ勉強し始めている。お金は全部大人に任せているんじゃないという新しい面を感じて、さすが高知ならではないかなと感じております。

一応8団体全てに助成をするということが決まりました。これは我々にとってもすごく嬉しいんですが、でも正面を見ていただくと、満票入っているところと、それから5票とか6票とか入っているところの差が歴然とあります。僕は、これはただひとつ準備不足。検討時間が足りなかったんじゃないかなと思います。基本的な目的や主旨とかは8団体素晴らしいと思っているんですが、どれだけ時間をかけてみんなが議論して、侃々諤々こじゃないかあじゃないかって議論したところが、質問に対してもきちっと答えられるし、これからの活動に対しても悩まずに出来るわけです。したがって少し足りなかったところは、それを十分認識して、今日みんなが応援したいということで指摘をしていただいているわけですから、その点を考えて活動して欲しいと思います。

最後に、むしろ大人の人たちをお願いしたいんですけども、子どもたちのこういった活動、あるいは高知でこういうふうにしたいというエネルギーというのは素晴らしいものでございます。子どもたちのこういうエネルギーを支えていく、脇で応援していく、アドバイスをしていくということが大人の役割なんじゃないかと思います。ぜひ、子どもたちの主体性を重んじながら脇でアドバイスをするという形で、会場にいらっしゃっている方々、それから市役所の方々に、この8団体の活動が実りあるものになるように、また来年3月、この会場で1年間良かったね、と言えるような素晴らしい活動になるようにも応援をお願いいたします。本当に長い時間ありがとうございました。

僕は高知の人間ではありませんが、高知で、日本でただ一つのこういった形のまちづくりが進んでいくということを提案し、市長とご相談したことを誇りに思っています。

本当にありがとうございました。



# 【こうちこどもファンドへの寄附者の皆さま】

(平成 25 年 8 月末日現在)

## 《企業・団体 様》※50音順

●有限会社大石電機	代表取締役	大石	典明	様
●有限会社片岡電気工事	代表取締役	片岡	雅夫	様
●株式会社岸之上工務店	代表取締役社長	岸之上	憲一	様
●株式会社公職研	代表取締役	大田	昭一	様
●高知市職員労働組合	執行委員長	明坂	浩	様
●高知市旅館ホテル協同組合	理事長	宮村	耕資	様
●高知スタンダード石油株式会社	代表取締役	手嶋	邦彦	様
●株式会社高知タマモ	代表取締役	濱田	泰巨	様
●高知南ライオンズクラブ	会長	竹内	靖	様
●三愛石油カスタマーサービス株式会社	代表取締役	池田	宜弘	様
●三共工業有限会社	代表取締役	飯間	俊一郎	様
●株式会社四国清掃工業	代表取締役	森国	勇	様
●株式会社四国相互手形センター	代表取締役社長	矢野	利平	様
●株式会社四国ポンプセンター	代表取締役	西村	倫彦	様
●医療法人仁栄会 島津病院	理事長	島津	栄一	様
●株式会社シンテック	代表取締役	田所	伸雄	様
●株式会社セイミツ	代表取締役	小林	正典	様
●株式会社双電社	代表取締役	堅田	英信	様
●東京テクニカサービス株式会社ドコモショップ愛宕店	代表取締役	高橋	吉久	様
●西村商工株式会社	代表取締役	西村	倫彦	様
●パシフィックソフトウェア開発株式会社	代表取締役	中谷	正彦	様
●福留開発株式会社	代表取締役	大場	智公	様
●株式会社松井ビル	代表取締役	松井	誠一	様
●丸仁商事株式会社	代表取締役社長	下元	康弘	様
●ほか1企業				

## 《個人 様》

- 梶原 太一様 (高知市在住)
- 田所 伸雄様 (高知市在住)
- 久川 憲四郎様 (横浜市在住)
- そのほか6名の皆さま

## 《その他》

子どもたちが活動を行う中で、ドリンク2箱の差し入れ応援がありました！

**【発行】**

**高知市 市民協働部 地域コミュニティ推進課**

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL/088-823-9080

FAX/088-824-9794

<平成25年9月発行>